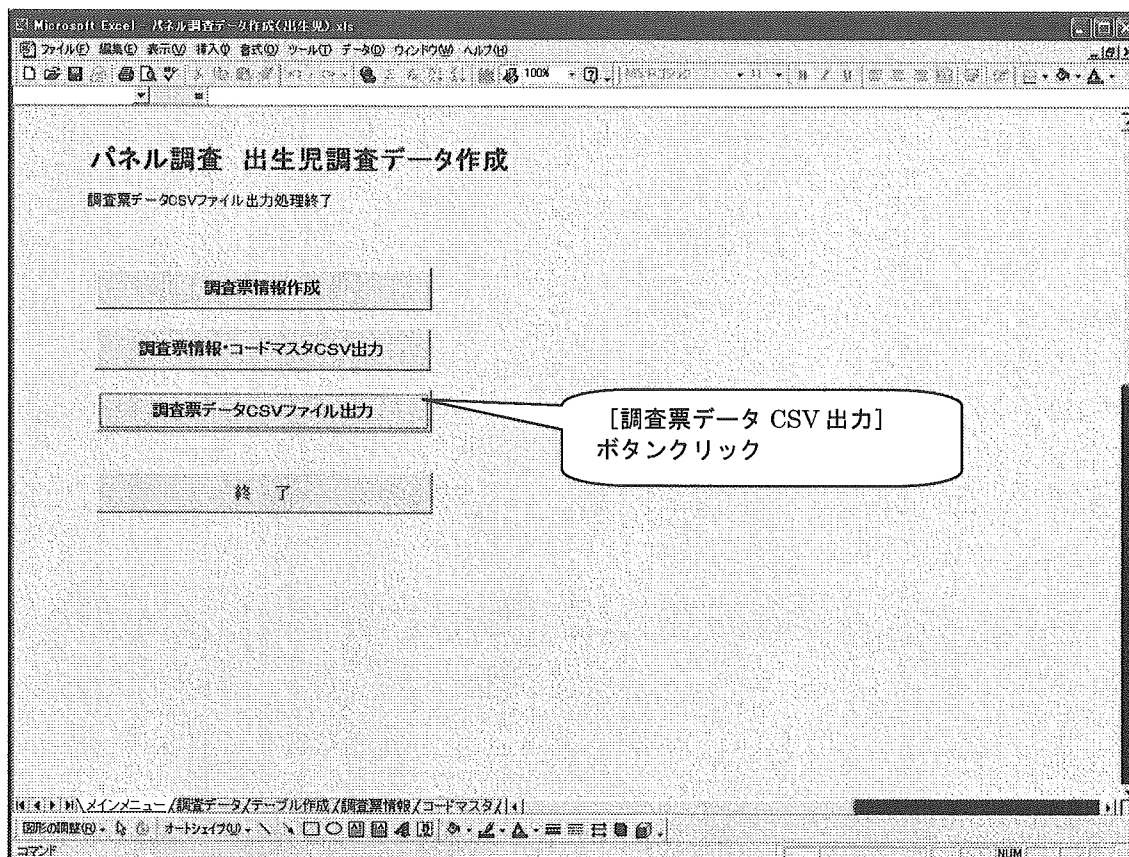


4. 調査票データ CSV ファイル出力

4. 1 ファイル出力の実行

[メインメニュー] シートの [調査票データ CSV ファイル出力] コマンドボタンをクリックします。



● 図 4-1-1 メインメニュー

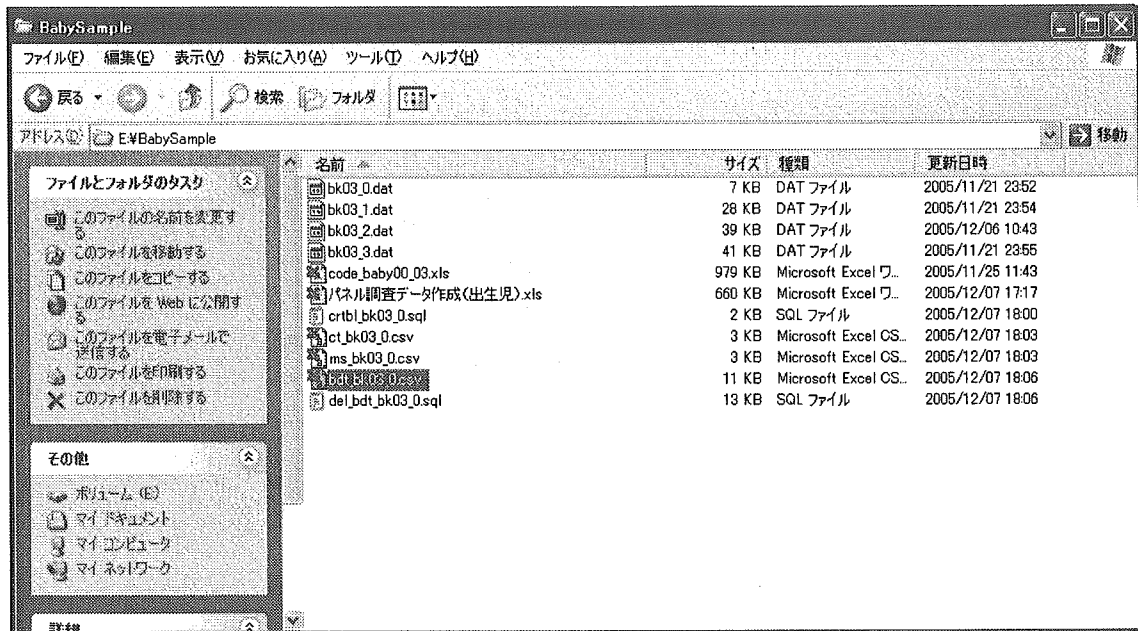
処理が終了すると「調査票データ CSV ファイル出力処理終了」のメッセージが画面上に表示されます。

4. 2 出力結果の確認

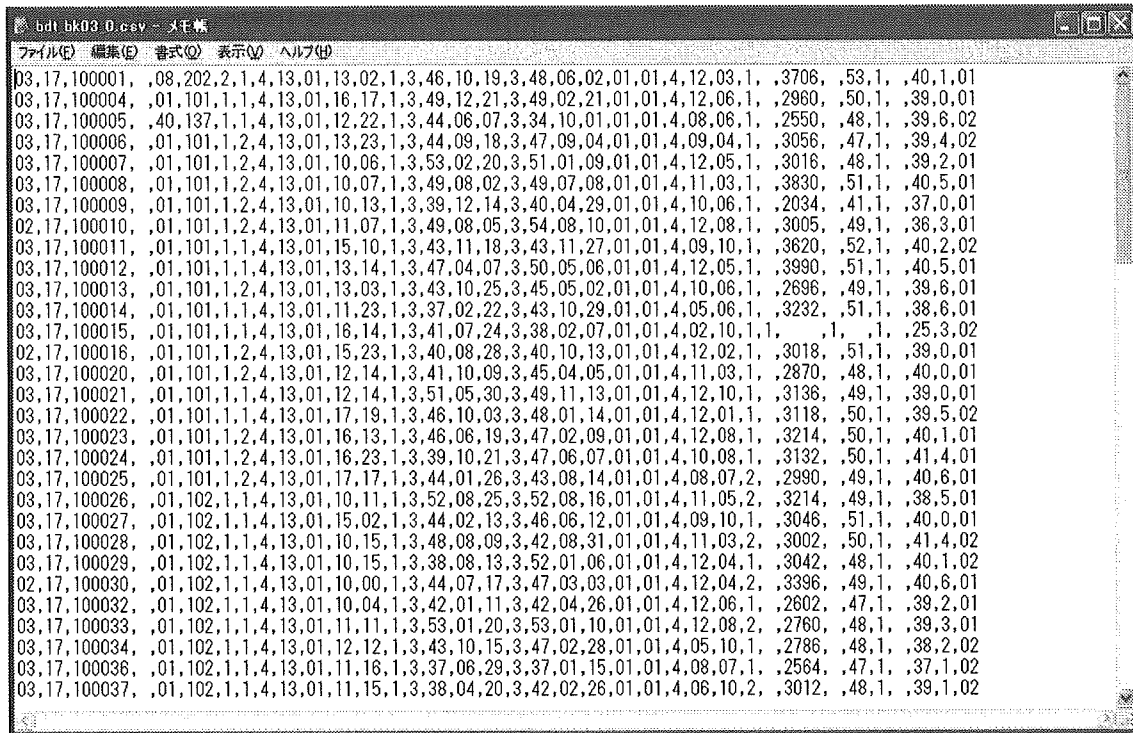
ツールを実行しているフォルダ配下に調査票データの CSV ファイルが出力されます。

- ・ 成年者調査票データ CSV ファイル : adt_ (調査票番号) .csv
- ・ 出生児調査票データ CSV ファイル : bdt_ (調査票番号) .csv

例) 調査票番号が bk03 の出生児調査の場合「bdt_bk03_0.csv」となります。



● 図 4-2-1 調査票データ CSV ファイル出力後の実行フォルダ内のファイル



● 図 4-2-2 CSV ファイルの内容

ツールを実行しているフォルダ配下にデータ登録前のレコード削除 SQL ファイル「del_adt_ (調査票番号) .sql」が出力されます。

- ・ 成年者調査票データの場合 : del_adt_ (調査票番号) .sql
- ・ 出生児調査票データの場合 : del_bdt_ (調査票番号) .sql

```
del_bdt_bk03_1.sql - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100001';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100004';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100005';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100006';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100007';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100008';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100009';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '02' AND A002 = '17' AND A003 = '100010';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100011';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100012';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100013';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100014';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100015';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '02' AND A002 = '17' AND A003 = '100016';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100020';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100021';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100022';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100023';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100024';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100025';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100026';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100027';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100028';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100029';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '02' AND A002 = '17' AND A003 = '100030';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100032';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100033';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100034';
DELETE FROM bdt_bk03_1 WHERE A001 = '03' AND A002 = '17' AND A003 = '100036';
```

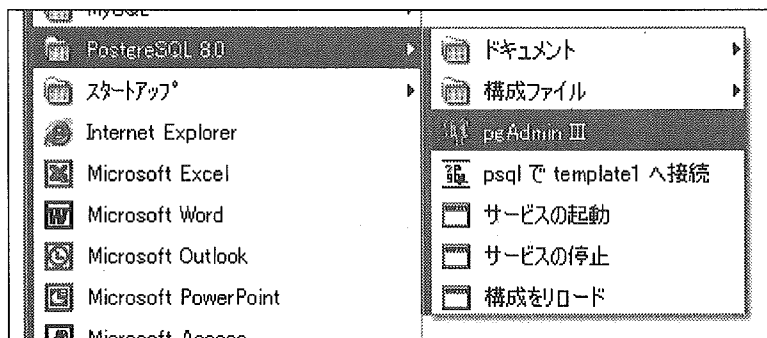
● 図 4-2-3 SQL ファイルの内容

5. テーブル作成

新しく追加する調査票データの各種テーブルを作成します。

5. 1 PostgreSQL 管理ツール「pgAdminIII」の起動

[スタート] - [すべてのプログラム] - [PostgreSQL 8.0] - [pgAdminIII] をクリックします。



● 図5-1-1 「PostgreSQL 8.0」メニュー

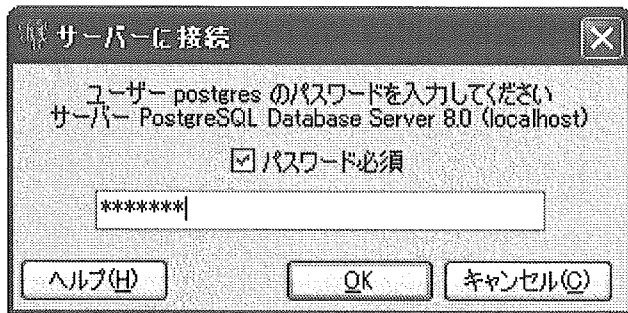
データベースは稼動中ですが、接続していない状態ですので、スーパーユーザーである「postgres」でログインし接続します。

「PostgreSQL Database Server 8.0」を選び、右クリックして「接続」を選びます。



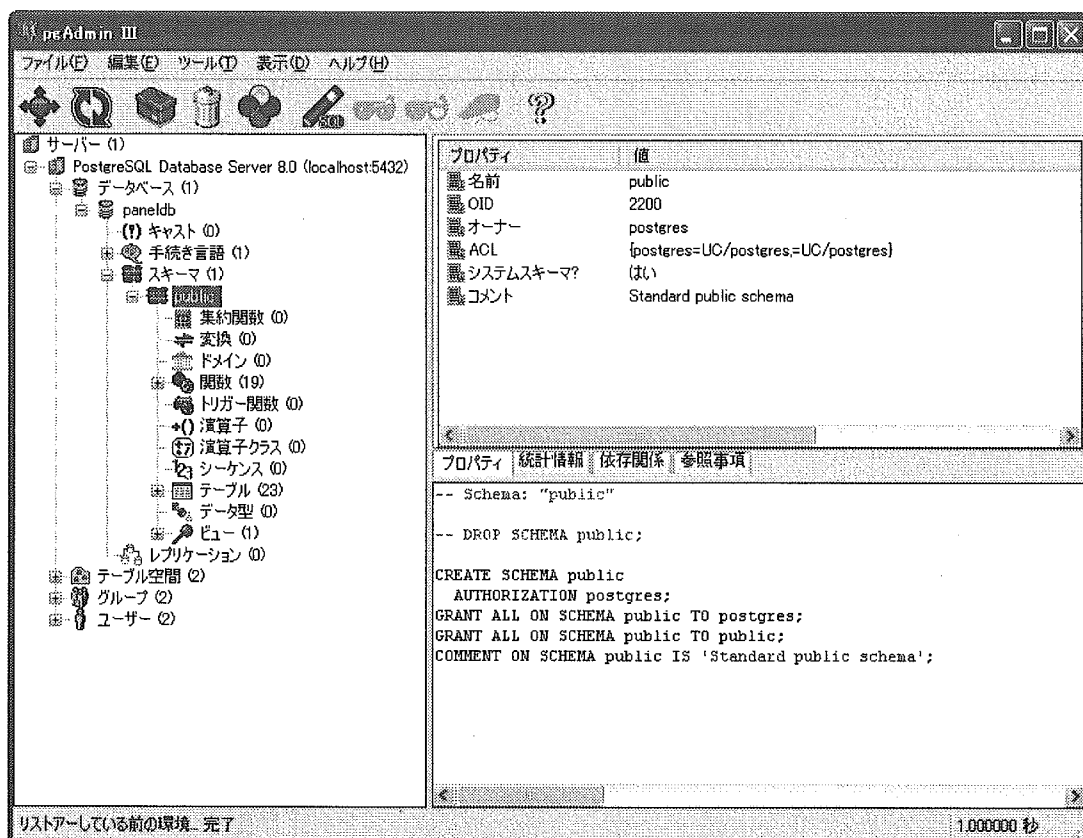
● 図5-1-2 「pgAdminIII」メインウィンドウ（サーバーへの接続）

パスワード「postgres」を入力し [OK] ボタンをクリックします。



● 図 5-1-3 パスワード入力ウィンドウ

接続が完了すると以下のような画面になります。

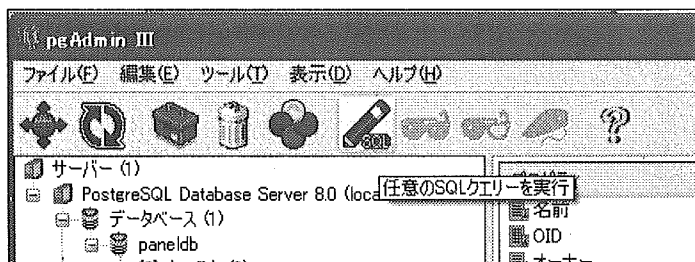


● 図 5-1-4 「pgAdminIII」メインウィンドウ (サーバーへの接続後)

5. 2 テーブル作成実行

調査票情報テーブル・コードマスタテーブル・調査票データテーブルの3種類のテーブルを作成します。

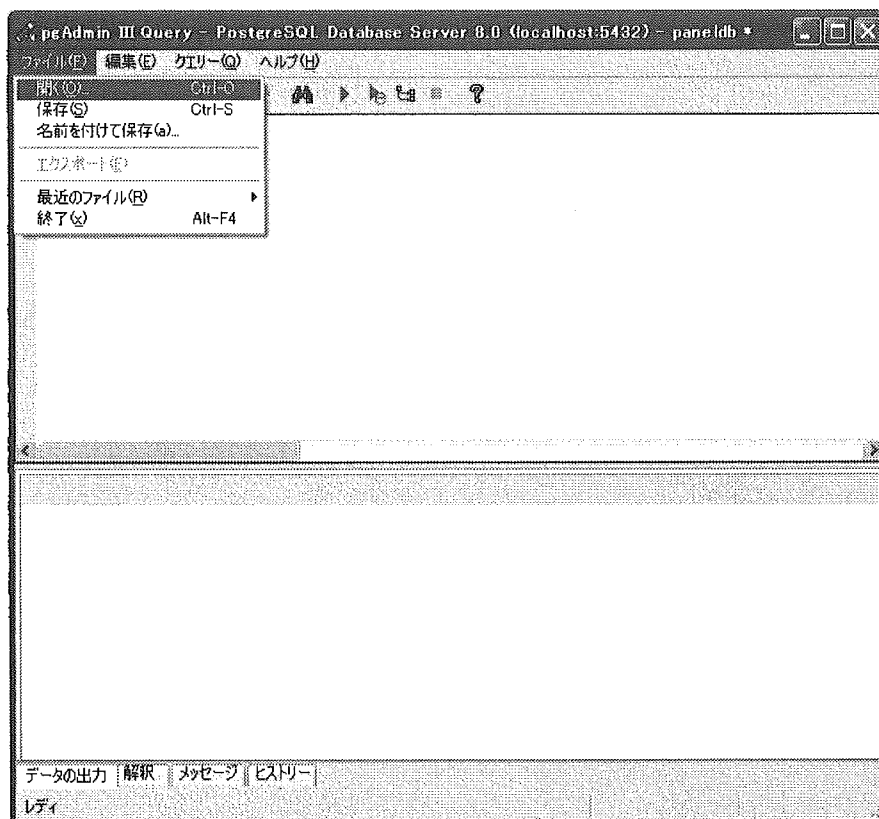
[任意のSQLクエリーを実行] アイコンをクリックします。



● 図5-2-1 [任意のSQLクエリーを実行]

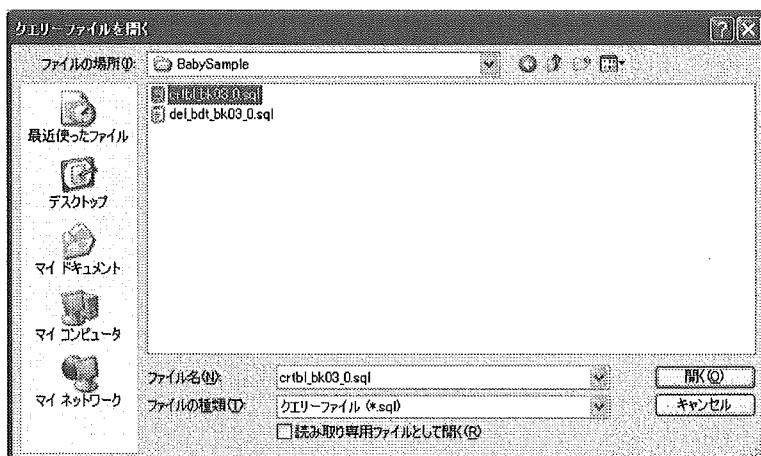
以下の [pgAdminIII Query] 画面が表示されます。

[ファイル] - [開く] メニューを選びます。



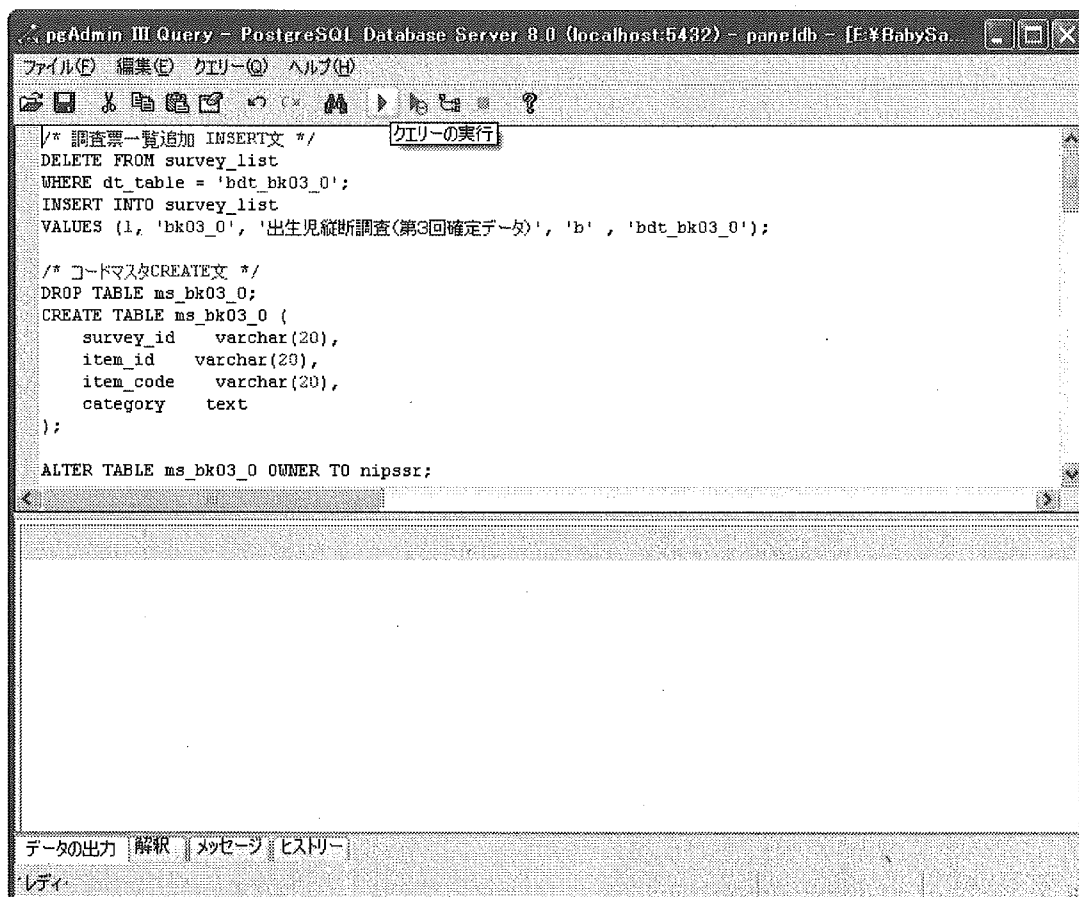
● 図5-2-2 [pgAdminIII Query] ウィンドウ

「2. 調査票情報作成」で作成したテーブル作成 SQL ファイル「crtbl_(調査票番号).sql」を選択し開きます。



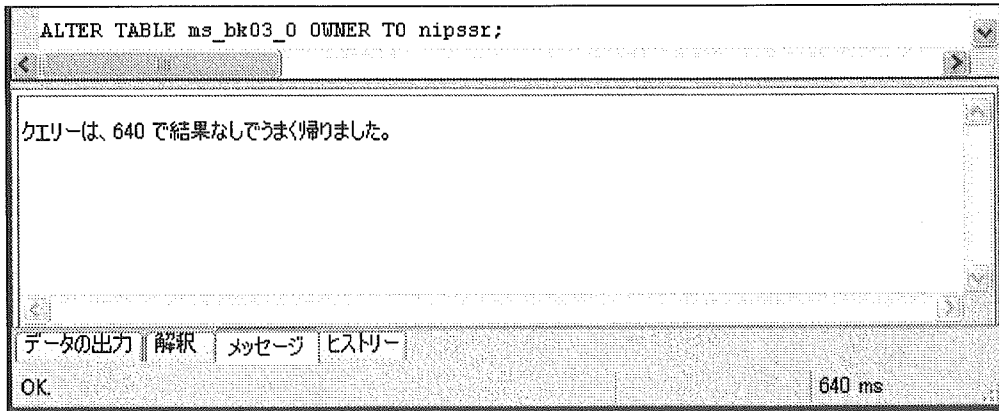
● 図5-2-3 「クエリーファイルを開く」ウィンドウ

[クエリーの実行] ボタンをクリックし、表示された CREATE 文を実行します。



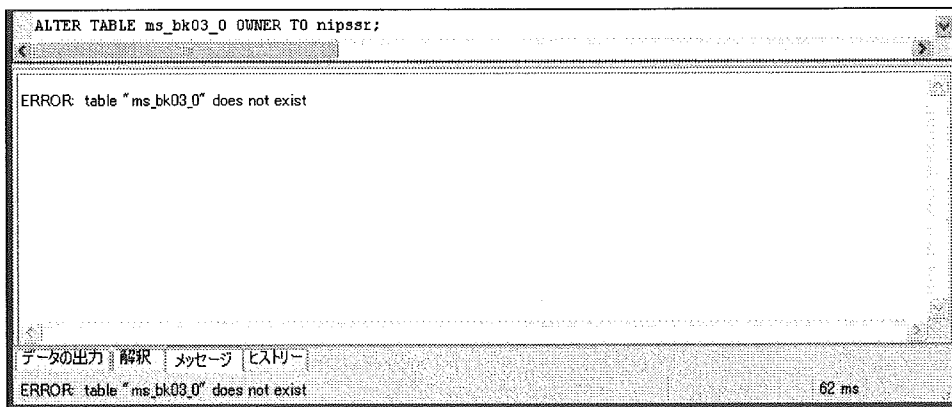
5. 3 実行結果の確認

テーブル作成に成功すれば以下のように表示されます。



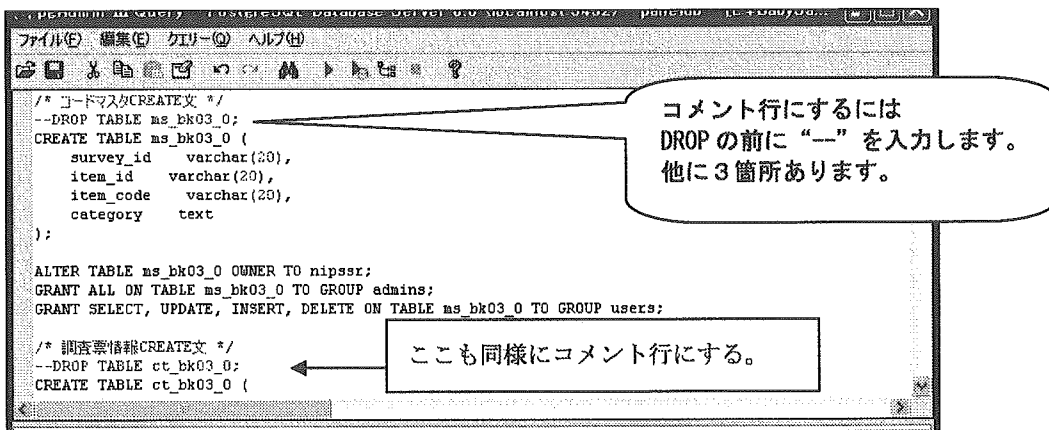
● 図 5-3-1 [pgAdmin III Query] ウィンドウ下段 (結果表示)

以下のようにエラーが表示された場合、



● 図 5-3-2 [pgAdmin III Query] ウィンドウ下段 (エラー結果表示)

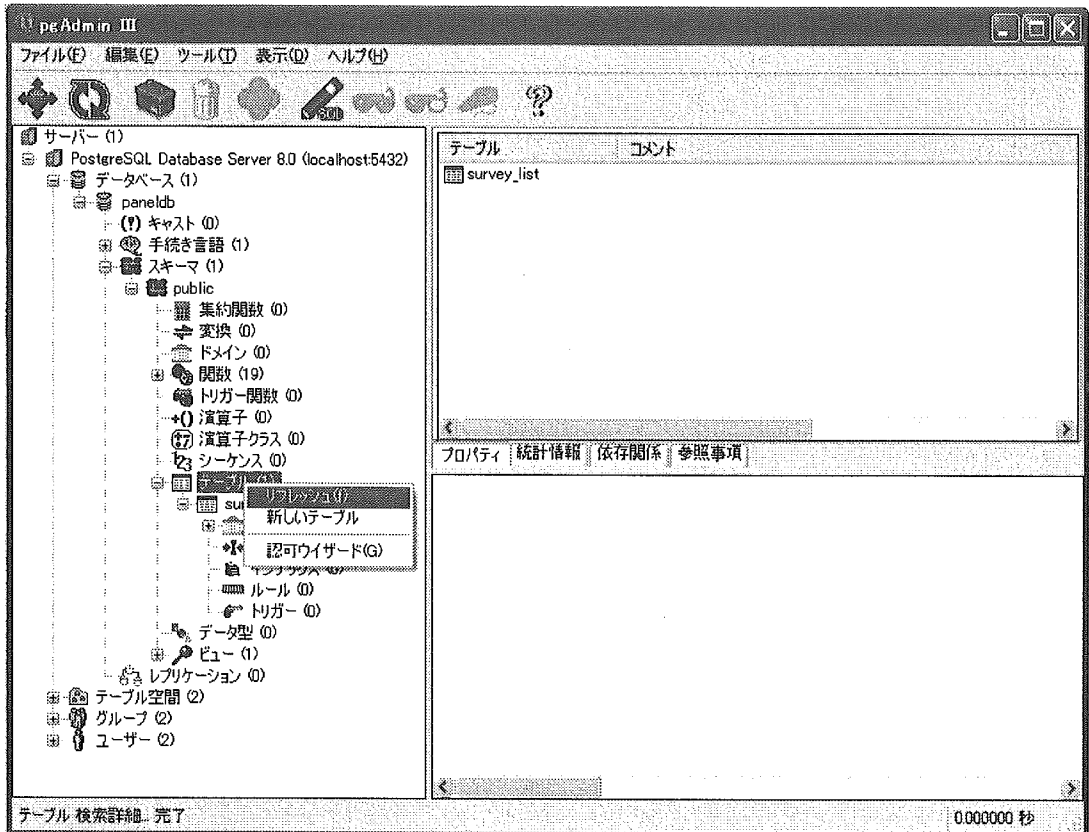
以下のように DROP TABLE 文をコメントにし再度実行します。



● 図 5-3-3 [pgAdmin III Query] ウィンドウ上段 (SQL 文修正)

作成されたテーブルを確認します。

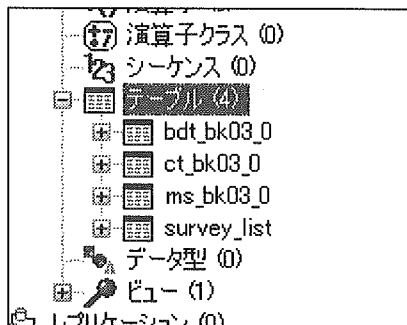
「pgAdminIII」メインウィンドウで「テーブル」を選び、右クリックして「リフレッシュ」を選びます。



● 図5-3-4 「pgAdminIII」メインウィンドウ テーブル情報リフレッシュ

以下のように3種類（調査票情報テーブル・コードマスタ・調査票データ）が作成されているか確認します。

以下の画面例では bdk_bk03_0・ct_bk03_0・ms_bk03_0 の3テーブル。



● 図5-3-5 テーブル一覧

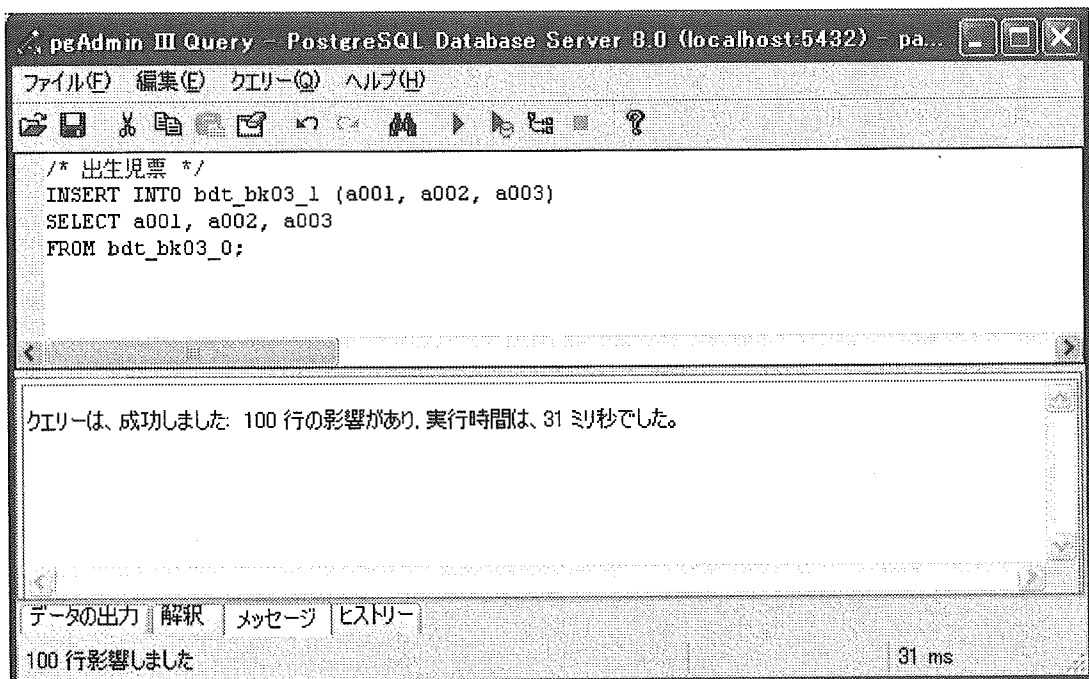
6. データロード

6. 1 初期データ登録

複数回の調査で縦断検索を行なえるようにするため、第2回調査以降では追加する調査票テーブルのレコード数（調査対象者数）を第1回調査のレコード数に合わせる必要があります。

第1回調査の全対象者のキー項目を新しい調査票テーブルのキー項目に登録します。キー項目以外のその他の項目は Null 値として登録されます。

[pgAdminIII Query] ウィンドウを開き、SQL 文を入力しクエリーを実行します。



● 図6-1-1 初期データ登録実行結果

入力する SQL 文は以下の書式に従います。

(1) 出生児調査

```
INSERT INTO bdt_ (新しい調査票番号) (a001, a002, a003)  
SELECT a001, a002, a003 FROM bdt_ (第1回調査票番号) ;
```

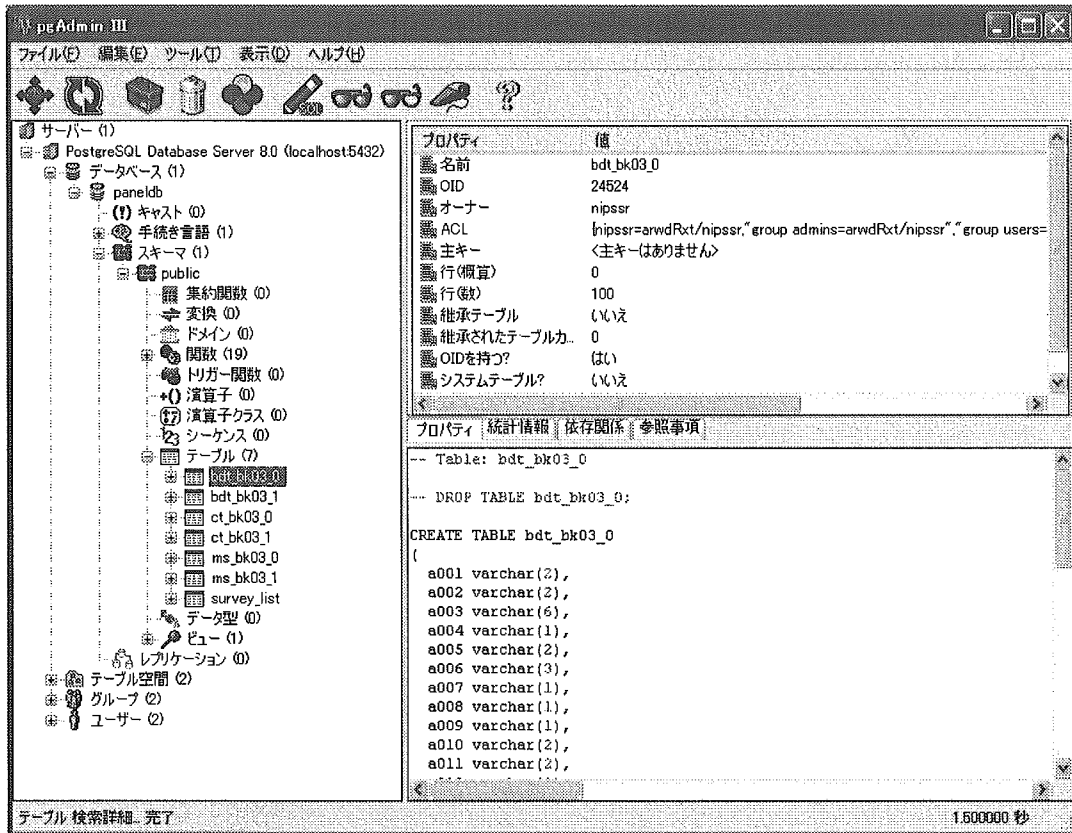
(2) 成年者調査

```
INSERT INTO adt_ (新しい調査票番号)  
(af001, af002, af003, af004, af005, af006)  
SELECT af001, af002, af003, af004, af005, af006  
FROM adt_ (第1回調査票番号) ;
```

列名は調査票（男性票・女性票・配偶者女性・配偶者男性）により異なる。

※赤字部分は調査票により異なります。(修正要)

「pgAdminIII」メインウィンドウでレコード数などを比較し、初期データが登録されているかどうか確認します。



● 図6-1-2 「pgAdminIII」メインウィンドウ（レコード数確認）

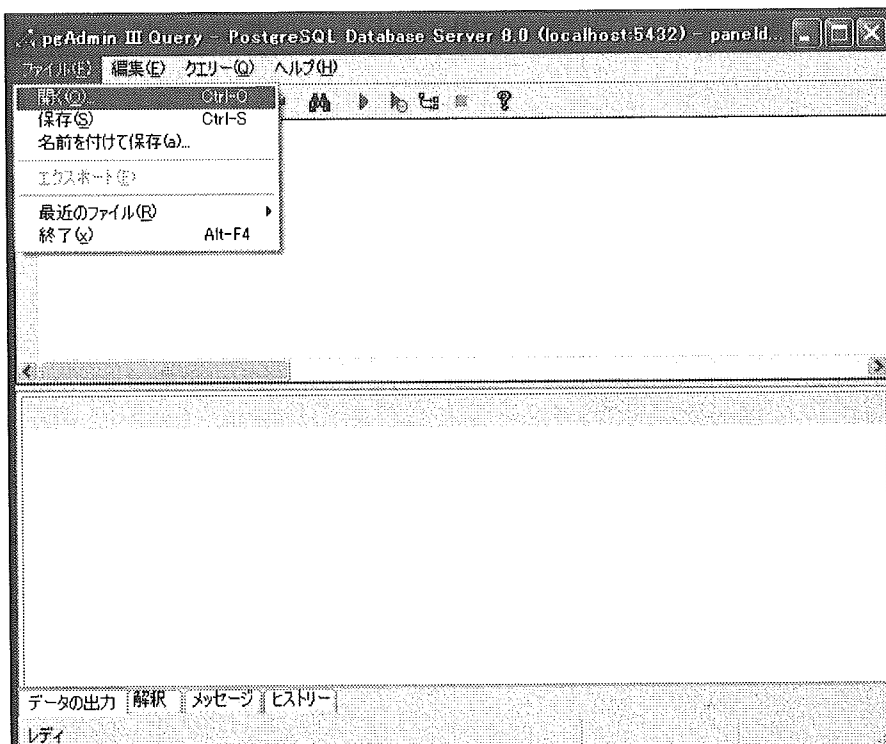
新しい調査票の行数が第1回調査票の行数と一致していれば登録成功です。

6. 2 ロード対象レコードの削除

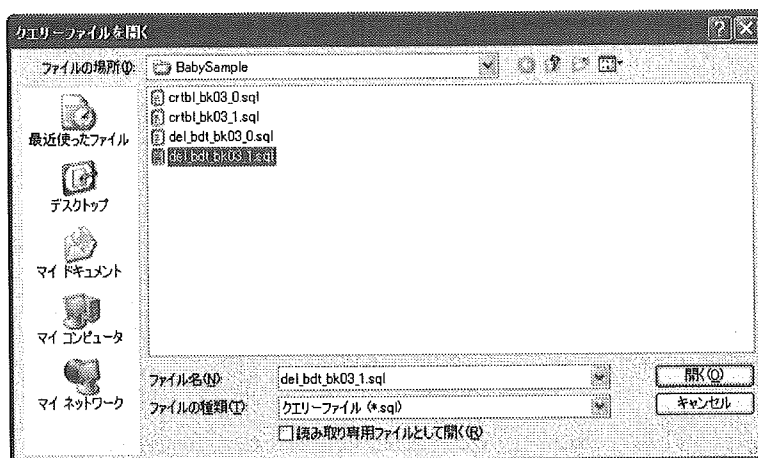
ここでの処理も第2回調査以降必要になります。

「4. 調査票データ CSV ファイル出力」で作成した調査票データを取り込むために、「6. 1 初期データ登録」で登録したデータの中から取り込む調査票データとキーが一致するレコードを削除します。

「4. 調査票データ CSV ファイル出力」で作成したレコード削除 SQL ファイル「del_adt_ (調査票番号) .sql」を開きます。

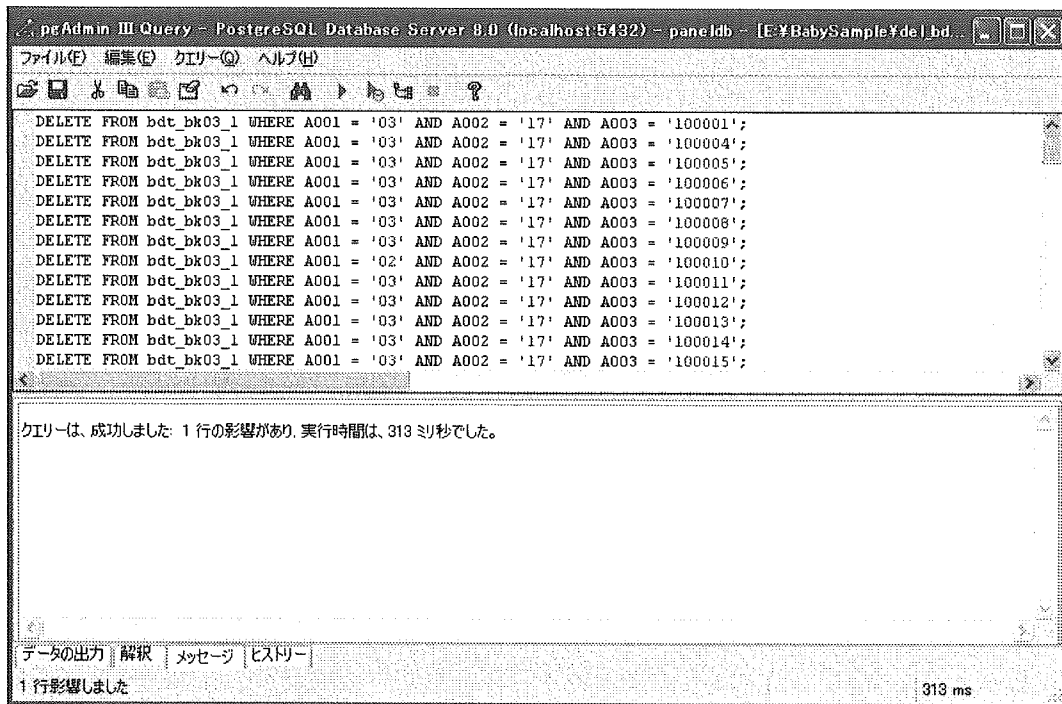


● 図6-2-1 [pgAdminIII Query] ウィンドウ [ファイル] - [開く]



● 図6-2-2 [クエリーファイルを開く] ダイアログ

[クエリーの実行] ボタンをクリックし、表示された DELETE 文を実行します。

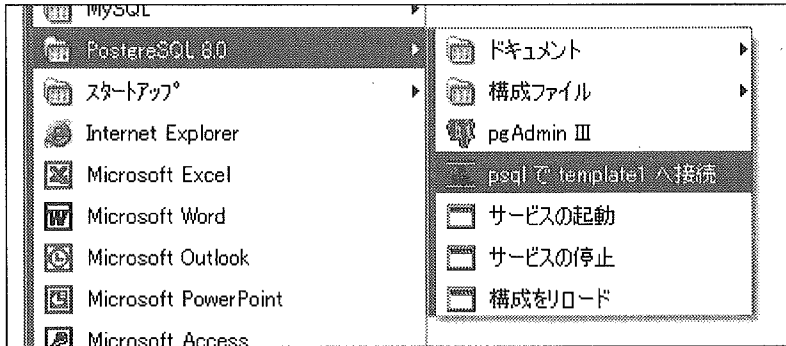


● 図 6 - 2 - 3 [pgAdminIII Query] ウィンドウ クエリーの実行

6. 3 CSV ファイルのロード

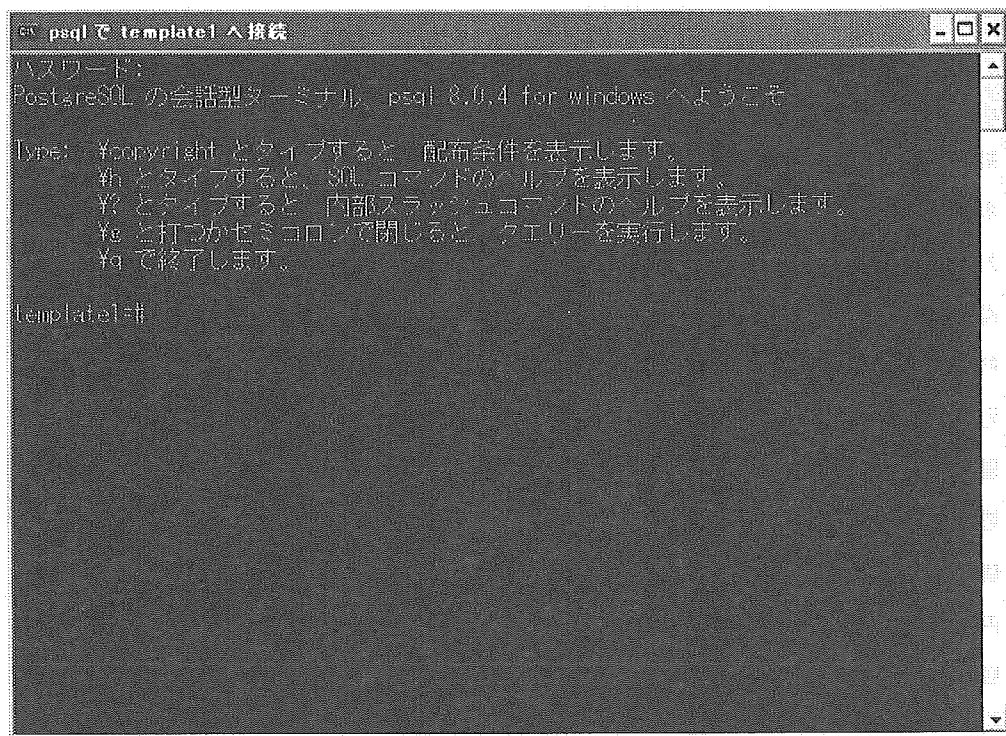
各種 CSV ファイルのテーブルへのロードは「psql」を使います。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [PostgreSQL 8.0] - [psqlで template1
へ接続] をクリックします。



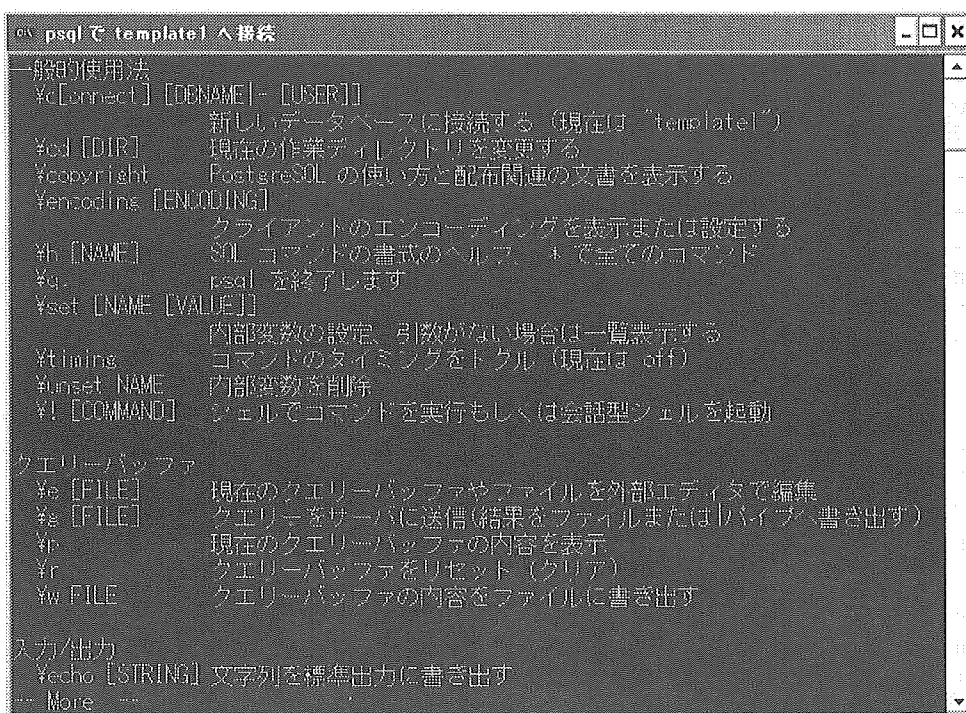
● 図6-3-1 「PostgreSQL 8.0」メニュー

スーパーユーザー「postgres」のパスワードを入力しログインします。



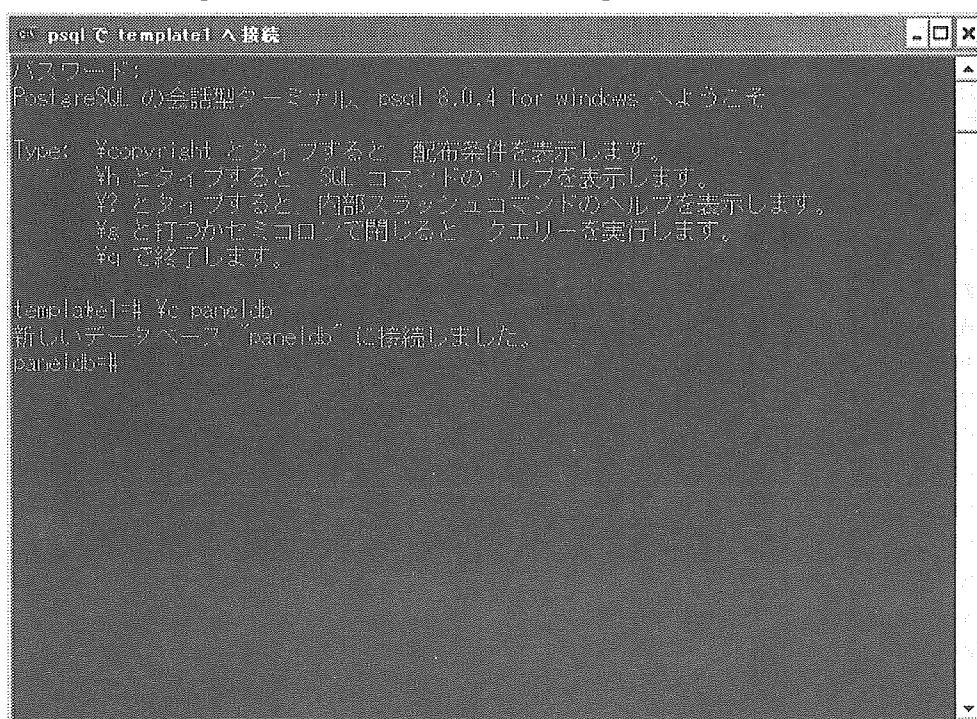
● 図6-3-2 「psql」画面

「?」でヘルプ画面が表示されます。



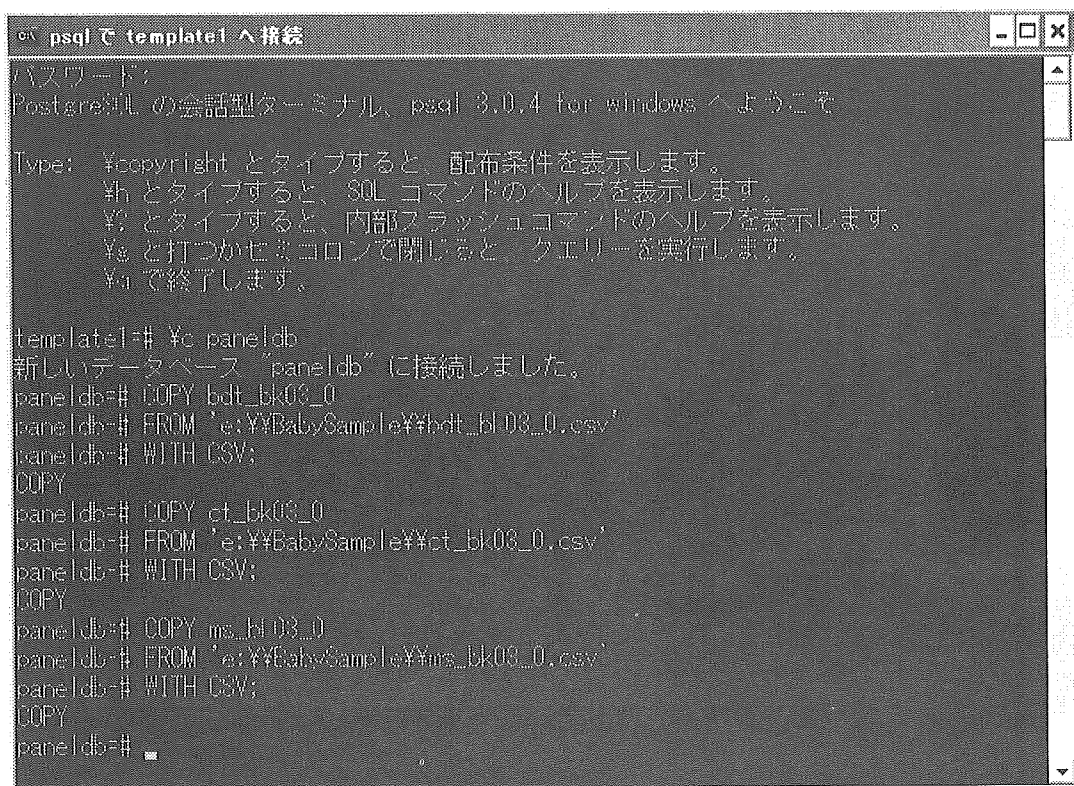
● 図 6-3-2 「psql」画面 ヘルプ画面

データベース「paneldb」に接続します。「%c paneldb」と入力します。



● 図 6-3-3 「psql」画面 データベース接続

CSV ファイル取り込みコマンドを入力し実行します。



```
psql で template1 へ接続
パスワード:
PostgreSQL の会話型ターミナル、psql 3.0.4 for windows へようこそ

Type:
%copyright とタイプすると、配布条件を表示します。
%h とタイプすると、SQL コマンドのヘルプを表示します。
%? とタイプすると、内部スラッシュコマンドのヘルプを表示します。
%e と打つかセミコロンで閉じると、クエリーを実行します。
%q で終了します。

template1=# %c paneldb
新しいデータベース "paneldb" に接続しました。
paneldb=# COPY bdt_bk03_0
paneldb=# FROM 'e:¥¥BabySample¥¥bdt_bk03_0.csv'
paneldb=# WITH CSV;
COPY
paneldb=# COPY ct_bk03_0
paneldb=# FROM 'e:¥¥BabySample¥¥ct_bk03_0.csv'
paneldb=# WITH CSV;
COPY
paneldb=# COPY ms_bk03_0
paneldb=# FROM 'e:¥¥BabySample¥¥ms_bk03_0.csv'
paneldb=# WITH CSV;
COPY
paneldb=#
```

● 図6-3-4 「psql」画面 データ取り込み実行

取り込みコマンドの書式 : COPY [テーブル名]

FROM [取り込みファイル名 (絶対パス)]

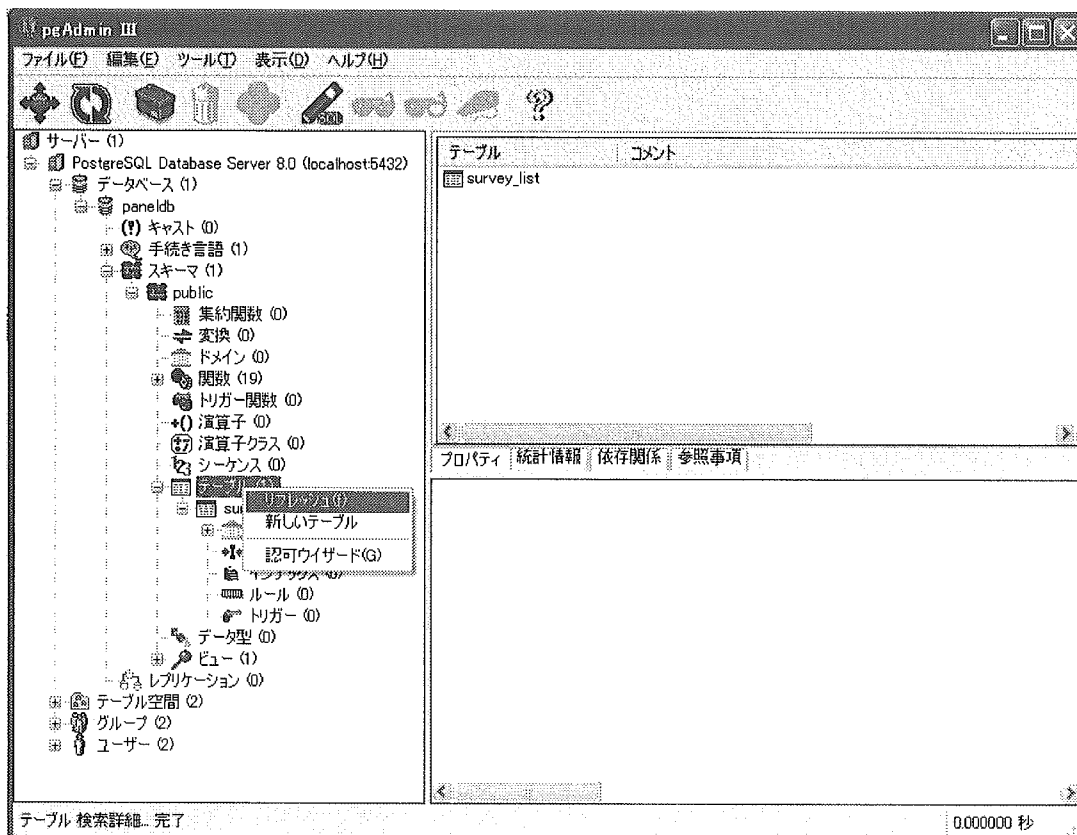
WITH CSV ;

※取り込みファイル名のパスの区切り文字は“¥¥”で記述してください。

※最後に“;” (セミコロン) を記述してください。セミコロンまでは[Enter]で複数行にわたって記述しても構いません。

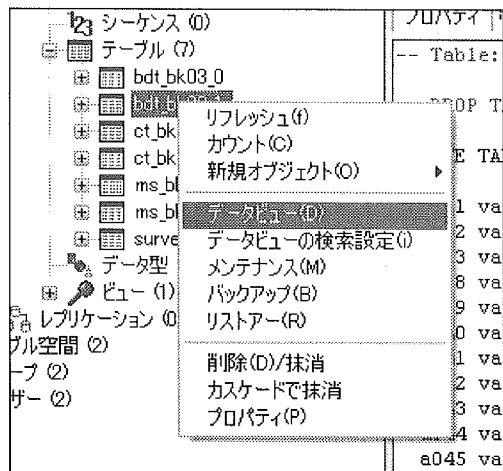
7. 取り込み結果の確認

「pgAdminIII」メインウィンドウで「テーブル」を選び、右クリックして[リフレッシュ]を選びます。



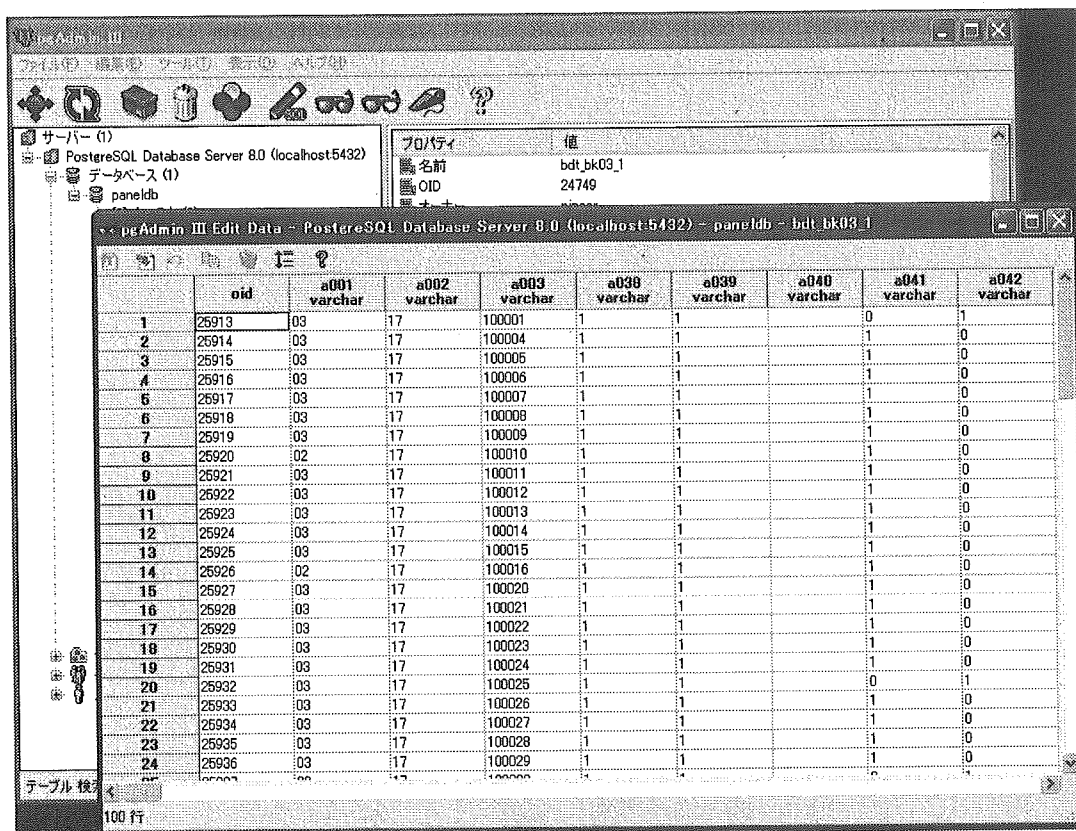
● 図7-1-1 「pgAdminIII」メインウィンドウ テーブル情報リフレッシュ

確認したいテーブルを選び、右クリックして[データビュー]を選びます。



● 図7-1-2 テーブル メニュー

以下のようなデータ編集ウィンドウが表示されますので取り込まれた内容を確認します。



● 図 7-1-3 「pgAdminIII」データ編集ウィンドウ

パネル調査データベース データ作成マニュアル (夫婦編)

目 次

| | |
|--------------------------------------|----|
| 0. はじめに | 1 |
| 1. データ作成のための準備 | 1 |
| 1. 1 ファイルの確認 | 1 |
| 2. テーブルの作成 | 1 |
| 2. 1 テーブル作成ファイルの編集 | 1 |
| 2. 2 PostgreSQL 管理ツール「pgAdminIII」の起動 | 2 |
| 2. 3 テーブル作成実行 | 4 |
| 2. 4 実行結果の確認 | 6 |
| 2. 5 調査票番号一覧作成 | 9 |
| 3. 夫婦調査データ作成 | 10 |
| 3. 1 作成処理の実行 | 10 |
| 3. 2 出力結果の確認 | 12 |
| 4. データロード | 13 |
| 4. 1 CSV ファイルのロード | 13 |
| 5. 取り込み結果の確認 | 16 |

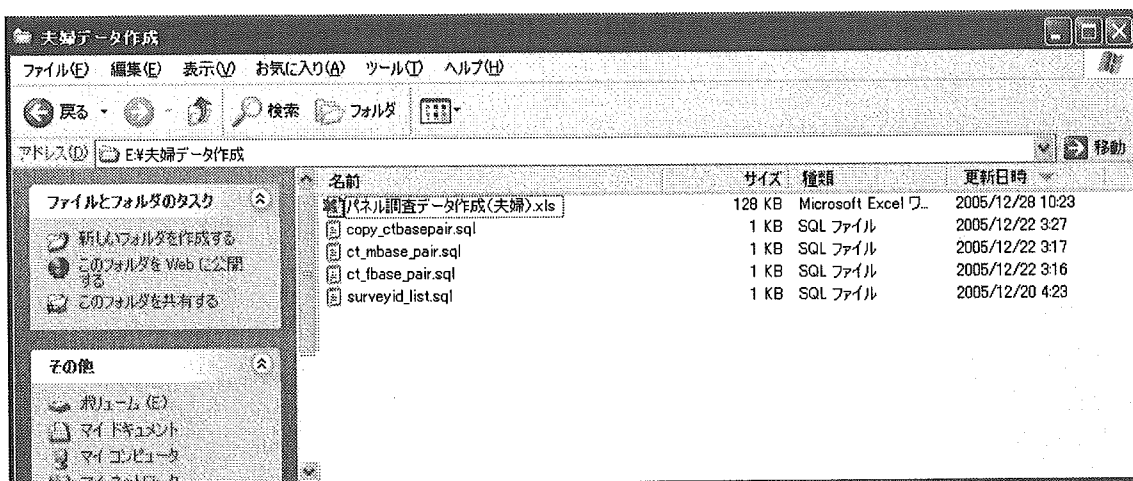
0. はじめに

この操作マニュアル資料はパネル調査データベースの夫婦調査データ作成手順について説明しています。

1. データ作成のための準備

1. 1 ファイルの確認

データ作成ツール・テーブル作成 SQL ファイルの各ファイルがあることを確認します。



● 図 1-1-1 実行フォルダ内のファイル

パネル調査データ作成ツールをダブルクリックします。マクロは有効にして開きます。

2 テーブルの作成

夫婦調査データ抽出に必要なテーブルを作成します。ただし既にテーブルを作成している場合、この作業は必要ありません。

作成するテーブルは以下の 3 種類です。

- (1) 調査票番号一覧テーブル (surveyid_list)
- (2) 女性票ベース夫婦管理テーブル (ct_fbase_pair)
- (3) 男性票ベース夫婦管理テーブル (ct_mbase_pair)

2. 1 テーブル作成ファイルの編集

女性票ベース夫婦管理テーブルおよび男性票ベース夫婦管理テーブルのテーブル作成 SQL ファイルを編集します。

以下は女性票ベース夫婦管理テーブルの調査回 2 回の例です。

```
CREATE TABLE ct_fbase_pair(
```